



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オールアバウト

コード番号 2454

URL <https://corp.allabout.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 (TEL) 03-6362-1300

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,799	△8.6	△79	—	△71	—	△66	—
2026年3月期第1四半期	4,155	13.3	18	—	19	—	△11	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △63百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △9百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△4.75	—
2026年3月期第1四半期	△0.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	6,617	3,913	52.8	247.88
2026年3月期	7,060	3,990	50.6	253.63

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,492百万円 2026年3月期 3,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	△6.3	△130	—	△130	—	△400	—	△28.46
通期	15,600	0.9	20	—	10	—	△700	—	△49.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	14,223,916株	2026年3月期	14,223,916株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	134,223株	2026年3月期	134,223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	14,089,693株	2026年3月期1Q	13,980,589株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

2027年3月期第1四半期決算は、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)において動画を掲載する予定であります。この四半期決算説明動画で使用する資料についても、同日、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、中東情勢の影響や金融資本市場の変動の影響などを引き続き注視する必要がある状況です。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「All About」や日本最大級のお試しサービス「サンプル百貨店」など、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,799百万円(前年同四半期比8.6%減)、営業損失は79百万円(前年同四半期は営業利益18百万円)、経常損失は71百万円(前年同四半期は経常利益19百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は66百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

当セグメントでは、AIの台頭等により「All About」への検索流入(セッション数)の減少傾向が継続したものの、広告単価の高いコンテンツへのシフトを進めた結果、プログラマティック広告売上が前年を上回りました。一方で、デジタルマーケティング事業が増収となったものの低粗利案件が多く含まれていたこと等により減益となりました。そんななか、PrimeAdや金融ライフサポート事業など、プログラマティック広告以外の収益源の開拓・拡大にも取り組み、事業構造の転換を進めてまいりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は422百万円(前年同四半期比2.2%増)、セグメント損失は87百万円(前年同四半期セグメント損失は67百万円)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

当セグメントでは、「サンプル百貨店」における商品調達が復調傾向を示し、ECモール(「Yahoo!ショッピング」)への出店やリアル店舗(アリオ川口店等)の新規オープンなど集客接点の拡充が進展いたしました。しかしながら、コマース領域における販促施策の再編が影響し、取扱高が減少しました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は3,344百万円(前年同四半期比10.6%減)、セグメント利益は113百万円(前年同四半期比53.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ649百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が262百万円、商品及び製品が146百万円増加した一方、売掛金が621百万円、未収入金が463百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は3,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が244百万円、建物が9百万円増加した一方、ソフトウェアが59百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円減少いたしました。これは主に、前受金が21百万円、未払費用が9百万円増加した一方、未払金が302百万円、買掛金が88百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は98百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは資産除去債務が2百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に配当実施により、資本剰余金が14百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失を66百万円計上したことで、利益剰余金が66百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	489,537	751,734
売掛金	1,905,848	1,284,275
未収入金	1,321,244	857,647
商品及び製品	314,064	460,770
未成制作費	3,975	3,813
前払費用	96,208	92,985
その他	40,078	66,872
貸倒引当金	△4,429	△698
流動資産合計	4,166,528	3,517,401
固定資産		
有形固定資産		
建物	327,640	343,125
減価償却累計額	△100,655	△107,067
建物（純額）	226,985	236,058
工具、器具及び備品	92,675	96,440
減価償却累計額	△62,295	△64,171
工具、器具及び備品（純額）	30,379	32,268
有形固定資産合計	257,364	268,327
無形固定資産		
のれん	292,727	284,744
ソフトウェア	789,476	730,151
ソフトウェア仮勘定	443,292	687,698
その他	522	522
無形固定資産合計	1,526,019	1,703,117
投資その他の資産		
投資有価証券	623,195	623,383
関係会社株式	102,783	106,259
破産更生債権等	1,810	1,810
差入保証金	337,980	341,055
繰延税金資産	12,765	26,482
その他	34,142	31,791
貸倒引当金	△1,810	△1,810
投資その他の資産合計	1,110,866	1,128,971
固定資産合計	2,894,250	3,100,416
資産合計	7,060,779	6,617,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	930,674	841,777
未払金	1,436,202	1,133,961
未払費用	373,389	382,956
未払法人税等	42,019	31,713
未払消費税等	24,149	25,733
前受金	132,151	153,214
預り金	22,712	23,204
賞与引当金	1,084	2,544
その他	11,453	10,287
流動負債合計	2,973,837	2,605,392
固定負債		
資産除去債務	89,478	92,276
その他	6,591	6,419
固定負債合計	96,069	98,696
負債合計	3,069,907	2,704,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,339,972	1,339,972
資本剰余金	1,876,566	1,862,476
利益剰余金	525,279	458,361
自己株式	△167,916	△167,916
株主資本合計	3,573,901	3,492,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△386	△386
その他の包括利益累計額合計	△386	△386
非支配株主持分	417,357	421,223
純資産合計	3,990,871	3,913,729
負債純資産合計	7,060,779	6,617,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,155,300	3,799,991
売上原価	1,510,889	1,379,919
売上総利益	2,644,410	2,420,071
販売費及び一般管理費	2,625,876	2,499,345
営業利益又は営業損失(△)	18,534	△79,274
営業外収益		
受取利息	990	1,287
受取配当金	2,000	3,500
持分法による投資利益	3,500	3,475
投資有価証券評価益	—	188
その他	1,573	607
営業外収益合計	8,063	9,057
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,207	—
消費税等差額	2,927	1,389
譲渡制限付株式関連費用	1,955	—
その他	508	222
営業外費用合計	6,599	1,611
経常利益又は経常損失(△)	19,998	△71,827
特別利益		
その他	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	870	—
特別損失合計	870	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,139	△71,827
法人税等	27,495	△8,775
四半期純損失(△)	△8,355	△63,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,051	3,866
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,407	△66,918

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△8,355	△63,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△980	0
その他の包括利益合計	△980	0
四半期包括利益	△9,336	△63,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,387	△66,918
非支配株主に係る四半期包括利益	3,051	3,866

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(資本金の額の減少及び剰余金の処分)

当社は、2026年5月28日開催の取締役会において、2026年6月24日開催の第34回定時株主総会に、資本金の額の減少及びその他資本剰余金の処分について付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決されました。

1. 資本金の額の減少の目的

繰越利益剰余金の欠損填補を行うとともに、今後の財務戦略上の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。

2. 資本金の額の減少の内容

(1) 資本金の額の減少の内容

資本金の額1,339,972,579円のうち、913,212,790円を減少し、減少後の資本金の額を426,759,789円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更を行わず、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振替いたします。

3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金の減少の効力発生を条件として、増加するその他資本剰余金913,212,790円を繰越利益剰余金に振り替えることで欠損填補に充当いたします。

4. 資本金の額の減少並びに剰余金の処分の日程

(1) 取締役会決議日	2026年5月28日
(2) 定時株主総会決議日	2026年6月24日
(3) 債権者異議申述公告日	2026年7月8日
(4) 債権者異議申述最終期日	2026年8月10日
(5) 効力発生日	2026年8月11日 (予定)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティ ング ソリューシ ョン	コンシュー マ サービス	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	413,747	3,741,552	4,155,300	—	4,155,300	—	4,155,300
外部顧客への売上高	413,747	3,741,552	4,155,300	—	4,155,300	—	4,155,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,096	120	9,216	—	9,216	△9,216	—
計	422,844	3,741,672	4,164,516	—	4,164,516	△9,216	4,155,300
セグメント利益又は損 失(△)	△67,724	242,059	174,335	—	174,335	△155,800	18,534

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△155,800千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,800千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティ ング ソリューシ ョン	コンシュー マ サービス	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	422,745	3,344,127	3,766,873	33,117	3,799,991	—	3,799,991
外部顧客への売上高	422,745	3,344,127	3,766,873	33,117	3,799,991	—	3,799,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,667	87	8,755	—	8,755	△8,755	—
計	431,413	3,344,215	3,775,628	33,117	3,808,746	△8,755	3,799,991
セグメント利益又は損 失(△)	△87,804	113,022	25,217	△2,800	22,416	△101,690	△79,274

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、銀行代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△101,690千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	99,456千円	91,501千円
のれんの償却額	744千円	7,983千円